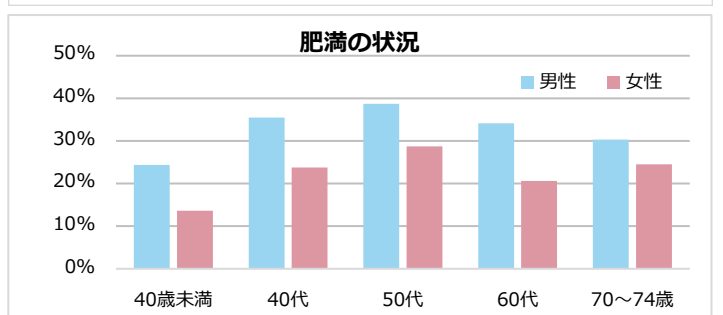
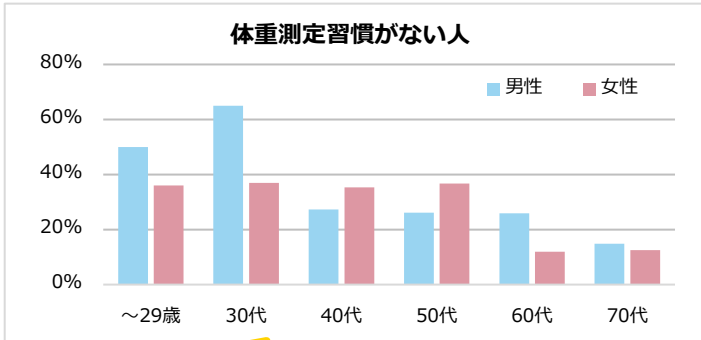
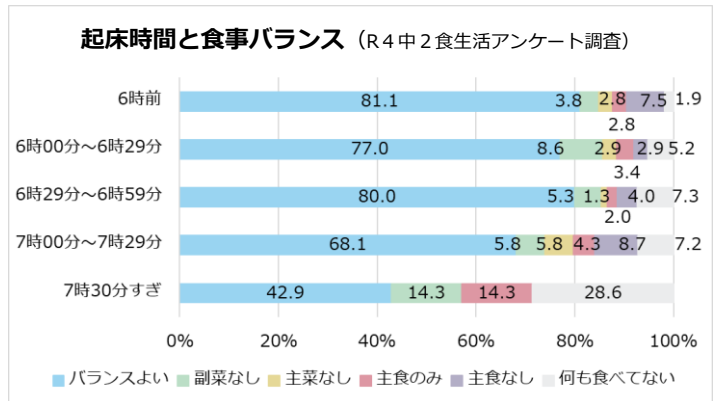
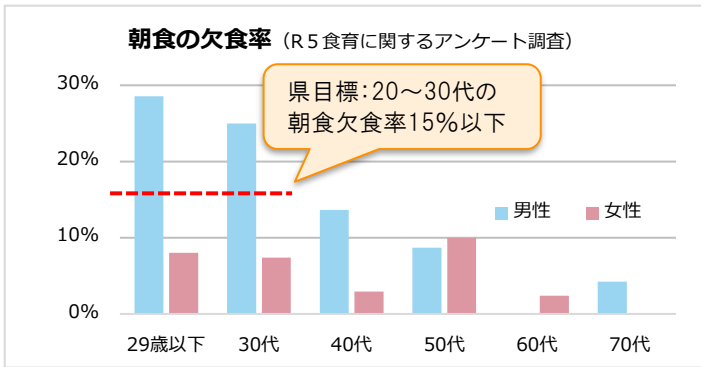
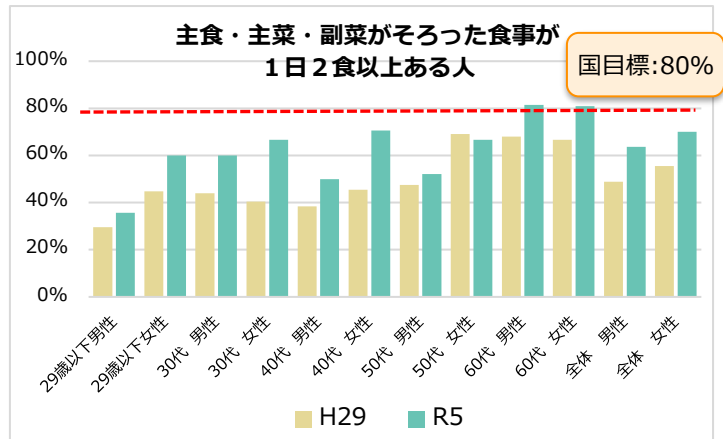
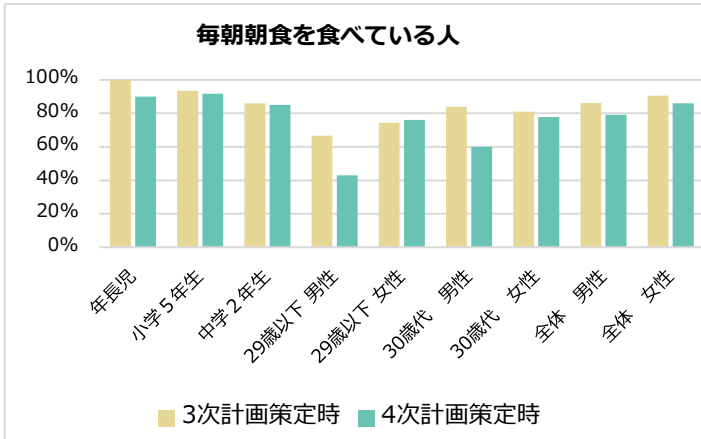


# 食をめぐる現状と課題

「食生活アンケート調査」学校教育課  
 「食に関するアンケート調査」子育て支援課  
 「食育に関するアンケート調査」市民課 より抜粋



## 乳幼児期

- 適切な時期に離乳食を進めている割合が改善 (約 90%)
- 3歳児の肥満割合が増加 (約 30%)、5歳児は横ばい (20.8%)
- バランスよい朝食を摂取している年長児は 60%弱、副菜が (野菜類) が摂れていないのは約 40%

## 学童~思春期

- 児童、生徒の肥満割合が増加 (男児約 12%、女児 7%)
- 「朝食を毎日食べる」児童、生徒の割合は減少
- バランスよい朝食を摂取している児童、生徒の割合は、県平均を上回っている。
- 起床時間が遅くなるほどバランスのよい食事が摂れない

## 若い世代

- 体重を測らない人が多い
- 朝食の欠食率が高い
- 若年女性の「やせ」の割合が増加
- 野菜摂取量が少ない
- 運動不足
- バランスよい食事を摂ることが少ない
- 食塩量に気を付けている人が少ない

後年の健康に影響  
 普段の食事が  
 未来の暮らしの決め手

## ~高齢期

- 男女共に肥満者の割合が増加 → 生活習慣病のリスクが高まる
- 高血圧の人の割合は高値を維持 → 循環器疾患のリスク増
- 働き盛り・子育て世代の朝食欠食率、食事バランス、体重測定習慣が課題
- 65歳以上の「やせ」の割合は横ばい

